

看護部ミニブログ



白鳥病院看護部では、BSC(バランス・スコア・カード)で目標管理をしています。今年度は、「急変の予測と対応を行い安全な看護を提供する」を看護部目標のひとつに掲げ、急変時の対応に強くなろうと看護師全員で取り組んでいます。今回は、その取り組みの一つを紹介します。



今度、何かあったときには、こうやって使っ
て…。



100ジュールに設定しま
す。

1分間に100回のリ
ズムで…心臓マッ
サージ。
絶え間なく押し
て…。



みんな、真剣に取り組んでいますね。何かあつ
ても対応できるのはこのお陰ですね★



患者さんの意識がない、呼吸が止まっている…といった急変に遭遇したとき、冷静な判断で的確な行動がとれ、素早く対応できることは大変重要です。このような急変時の対応を強化するために、毎月1回を目標に各部署で「急変時対応シミュレーション研修」を行っています。実際に遭遇した急変の場面や、起こりうる予測される急変場面を想定したシナリオを各部署で作成し、看護師それぞれが、患者や看護師、医師などに扮し、シナリオに沿った急変場面を展開しながら、その対応について学んでいます。その状況によっては、部署内にとどまらず、コードブルーの発信で院内の他部署へ応援を要請することもあります。他部署の知らない患者であってもその場のリーダーの的確な指示で適切な対応を行う必要があります。シミュレーション研修を重ねて経験することで、的確な判断能力やリーダーシップを身に付け、急変対応への不安を軽減し、自信を持ってどんな急変時にも対応できるようになりたいとの思いで、日々奮闘しています。